

1. 科目名 (単位数)	社会科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	EDEL3316
2. 授業担当教員	荻原 邦昭		
4. 授業形態	講義、討議、レポート、模擬授業	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	小学校社会科の指導法に焦点化して、実践的な指導力を身に付ける。そのために、まず小学校社会科及び各学年（3年生以上）の目標と内容について、確実に理解する。次に、各学年の年間計画と各単元の指導計画の作成について具体的に検討する。さらに、これらの指導計画の学習をもとにして1単位時間の指導案づくりと模擬授業を行う。そして、これらの学習を通して、児童が社会的事象に興味・関心をもって、主体的に社会科授業に取り組み、確かな学力を身に付ける指導法について学修する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程の基本的事項について理解し、その知識を活用できる。 2. 学習指導要領の性格、教科書について理解し、教科指導法に向けて適宜参照できる。 3. 学習指導要領の改訂の歴史について理解し、現代日本の教育課程を位置づけられる。 4. 現行の学習指導要領の特徴を理解し、発展的に考察できる。 5. 教育評価の基本的事項について理解し、各評価の意義を考察できる。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【課題1】 講義中に作成した「学習指導案」と「模擬授業」及び「評価表」※指導案は指定の用紙にて作成</p> <p>【課題2】 講義中に作成した「単元計画」と「知識の構造図」※指定の用紙にて作成</p> <p>【振り返りシート作成】 毎授業のまとめを行い、定期的に提出し、添削を受ける。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領』東洋館出版社。 文部科学省『小学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版。</p> <p>【参考書】 小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）比較対照表 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題解決的学習について理解し、説明できるか。 2 社会科の学習指導案の形式・内容について理解し、学習指導案を作成できるか。 3 問題解決的学習を導入し、指導法を工夫して模擬授業を行うことができるか。 <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への積極的参加 総合点の30% 2 課題レポート・作成した資料・討論 総合点の70% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>小学校の社会科は、地域社会や我が国の国土、歴史などに対する学習を通して、社会的な見方や考え方を養い、そこで身に付けた知識、概念や技能などを活用し、社会との望ましいかわり方、社会のなかでどう生きるのかを学ぶ教科である。しかし、いま子どもたちの「公意識」の欠如が指摘され、主体的な社会参画の必要性が大きな課題となっている。そこで教科の役割について改めて考え、社会科指導の充実を図ることができるよう本科目では、次の事柄を遵守することを望む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緊張感と集中力をもって受講する。 2 質問、発表は積極的にを行い、主体的に取り組む。 3 欠席、遅刻、早退はしない。 4 勝手な退室、講義と無関係な振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作などは慎む。 教員は次のことを実行する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 講義のねらいを明確にし、シラバスに沿って講義する。 2 声の大きさや話し方など受講者の立場に立って講義する。 3 模擬授業、発表など受講者が講義に参加できる環境に配慮する。 4 受講者の質問には誠実に対応する。 		
13. オフィスアワー	授業時間内に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 社会科とは何か～社会科の歴史と領域 これまでの社会科学習の経験を踏まえ、社会科教育の目標を理解し、望ましい社会科指導法について考える。	事前学習	これまで経験した社会科の授業を想起し、教科書「社会編」の目標等を読んでおく。
		事後学習	本時の学習を振り返り、社会科教育の在り方を整理する。
第2回	楽しい社会科授業とは（問題解決的学習を中心に） 社会科の指導法の課題について学び、意欲的で楽しい授業づくりを考える。	事前学習	社会科教育の重要概念を調べる。
		事後学習	問題解決的学習を中心とする社会科指導の在り方を整理する。
第3回	授業はどのようにしてできるか～教育内容と教材 教材の役割が大きいことを理解し、資料をもとに考えを深めることができる学習過程を学びあう。	事前学習	社会科の学習指導案を調べておく。
		事後学習	教材分析の仕方を整理する。

第4回	知識の構造図について 知識の構造図とは何か、その意義と作り方について考える。	事前学習	知識の構造図について調べておく。
		事後学習	知識の構造図はどのように作るか整理する。
第5回	知識の構造図の作成と発表 各自選択した単元をもとに知識の構造図の作成を行い、発表を行う。	事前学習	知識の構造図の作成を準備する。
		事後学習	知識の構造図作成の意義について再確認する。
第6回	社会科授業の事例①（地域資料の活用） 地域資料を活用したすぐれた社会科授業の事例を全員で検討し、気付いたことを発表する。	事前学習	すぐれた事例を事前によく目を通しておく
		事後学習	どの点が参考になったかまとめる。
第7回	社会科授業の事例②（問題解決的学習） 問題解決的学習のすぐれた社会科授業の事例を全員で検討し、気付いたことを発表する。	事前学習	すぐれた事例を事前によく目を通しておく
		事後学習	どの点が参考になったかまとめる。
第8回	模擬授業の準備① 地理・産業単元を生かした模擬授業の準備を行う。	事前学習	地理・産業単元より授業箇所を考える。
		事後学習	模擬授業を構想する。
第9回	模擬授業の準備② 歴史単元を生かした模擬授業の準備を行う。	事前学習	歴史単元より授業箇所を考える。
		事後学習	模擬授業を構想する。
第10回	模擬授業の準備③ 公民単元を生かした模擬授業の準備を行う。	事前学習	公民単元より授業箇所を考える。
		事後学習	模擬授業を構想する。
第11回	模擬授業の実践①（問題解決的学習） 小単元の構想と本時が問題解決的な学習過程となっているかを踏まえた模擬授業を行い、相互評価を行う。	事前学習	必要な資料の準備と分析を行っておく。
		事後学習	模擬授業から相互評価を行う。
第12回	模擬授業の実践②（教材の役割） 教材分析を行い、子どもに何を学ばせるのか明らかにし、教材の適切な選択を行った模擬授業を行い、相互評価を行う。	事前学習	必要な資料の準備と分析を行っておく。
		事後学習	模擬授業から相互評価を行う。
第13回	模擬授業の実践③（指導と発問） 指導上の留意点を理解し、本時の展開を構想し、主発問や補助発問を考え模擬授業を行い、相互評価を行う。	事前学習	必要な資料の準備と分析を行っておく。
		事後学習	模擬授業から相互評価を行う。
第14回	模擬授業の実践④（情報機器の活用） 情報機器の効果的活用を含めた指導案をもとに、模擬授業を行い、相互評価を行う。	事前学習	必要な資料の準備と分析を行っておく。
		事後学習	模擬授業から相互評価を行う。
第15回	社会科指導法のまとめを行う。 新学習指導要領が目指す社会科指導のあり方を考える。	事前学習	模擬授業から得られたことを整理してくる。
		事後学習	社会科指導法で学んだことを今後どう生かすか、レポートを書く。
期末試験			